

私のクロソイ大きくなあれ



室蘭追直地域マリンビジョン協議会が、市の魚に制定されている「クロソイ」の知名度アップと、栽培漁業に親しんでもらうため、オーナーを募集。全国から1千42通もの応募があり、100人の当選者を決める抽選会を行った。当選者には、給餌体験や試食会などがあり、12月にクロソイが2匹届けられる。
(6月20日)

海と遊んだよ



海の日にちなみ、海に親しむイベントが、祝津親水緑地で行われ、カニや魚が放された水槽では、カニ釣りやカレイの手づかみなど、子どもたちが水浸しになって夏を満喫。また、護岸では市民参加による壁画づくりが行われ、親子がかわいいイルカやアザラシを壁いっぱい描いた。
(7月16日)



イタンキ浜の鳴り砂を守ろう



イタンキ浜鳴り砂を守る会の市民講座が市民活動センターで開催された。砂が鳴る仕組みや、きれいでなければ音が出ない「鳴り砂」が工業都市にあることは大変珍しいという話など、自然を守る大切さを学んだ。
(7月14日)

まちかど トピックス

世界に一つだけの作品づくり



「アイアンフェスタ2007」が輪西公園で行われ、鉄のキーホルダーづくり体験では、子どもたちが、熱して赤くなった鉄の棒をハンマーやペンチを使いながら形を整え、作品づくりに挑戦した。鉄製の巨大くん製器なども登場し、徹頭徹尾、鉄にこだわったイベントは「鉄の城下町」輪西に着実に定着している。
(7月7日、8日)

美術作品の美しさと謎を堪能



ふくろう文庫所蔵の作品を紹介する美術講座が市民会館で行われた。日本を代表する浮世絵師、葛飾北斎と、七夕に関する謎について、前図書館長の山下敏明さんが、興味を引くユニークな語り口で紹介し、約60人の市民が貴重な芸術作品への理解を深めた。
(7月7日)